

腸からはじまる豊かな暮らしを目指して 「一般社団法人 短鎖脂肪酸普及協会」参画のお知らせ

食を科学し、世界をパワフルに！をパーパスとするフジ日本株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：曾我英俊、以下「フジ日本」）は、水溶性食物繊維 Fuji FF（イヌリン）の健康機能に着目した研究を行って参りました。その活動の一環として、「一般社団法人 短鎖脂肪酸普及協会」に参画するとともに、11月27日(水)に開かれた同協会主催の立上げ発表会に参加致しました。

〈イヌリンとは〉

「イヌリン」はゴボウやタマネギに含まれる水溶性食物繊維の一種で、腸内細菌のエサとなり短鎖脂肪酸を生成し、様々な生理機能が報告されています。現在、「整腸作用」「血中中性脂肪の低減」「食後血糖の上昇抑制」「肌のバリア機能維持」をヘルスクレームとした機能性表示食品が申請受理されています。

フジ日本はイヌリンが短鎖脂肪酸を生成にもたらす影響を評価し、5月に開催された「第78回日本栄養・食糧学会大会」にて発表を行いました。

〈短鎖脂肪酸について〉

「短鎖脂肪酸」とは、腸内細菌が食物繊維やオリゴ糖を分解して産生する主要な代謝物質の一つ。主に、酢酸、プロピオン酸、酪酸の3つがあります。最新の研究では「便秘改善」「免疫機能の増強」「肥満抑制」「アレルギー抑制」「持久力の向上」など、短鎖脂肪酸が持つ多彩な健康機能が明らかになっています。さらに、健康な人において、現在まで悪影響が報告されていないことから、まさに“ミラクル物質”と呼ばれる存在です。そのため、生活者が「短鎖脂肪酸の産生」を意識することで、結果として医療費の削減や健康寿命の延伸といった社会的課題への貢献も期待できます。

〈短鎖脂肪酸普及協会について〉

短鎖脂肪酸普及協会は「短鎖脂肪酸」の認知向上・理解促進のため、企業や生活者をはじめとした様々なステークホルダーとの架け橋となることで短鎖脂肪酸の普及により「腸から新たな健康リテラシー構築」を目指します。これまでの腸活をアップデートし、「腸活の新指標＝短鎖脂肪酸」という生活者認知をつくっていきます。



短鎖脂肪酸普及協会



フジ日本株式会社

【参画企業】

- ・ 江崎グリコ株式会社
- ・ カルビー株式会社
- ・ ホクト株式会社
- ・ 株式会社 Mizkan
- ・ 株式会社明治
- ・ 森下仁丹株式会社
- ・ アサヒグループ食品株式会社
- ・ 株式会社ニコロオ
- ・ **フジ日本株式会社**
- ・ 森永乳業株式会社

※企業名は順不同

〈会社概要〉

社名 : フジ日本株式会社


所在地 : 東京都中央区日本橋兜町 6-7

代表者 : 代表取締役社長 曾我英俊

従業員 : 63 名

資本金 : 15 億 24 百万円

URL : <https://www.fuji-nihon.com>

本件に関するお問い合わせ先 :  フジ日本株式会社 担当 : 機能性食品事業部 田中
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 6-7
TEL : 03-3667-7830 FAX : 054-336-1900